

歳時記のある暮らし

二〇二四年

《十二月》

木枯ろしが吹き大雪へと季節が進む師走のころとなりました。皆様、すこやかに過ごしてでしょうか。

いつも『神秘の健康力』をご愛用いただき誠にありがとうございます。

根雪が積もるころ、「山眠る」というように山の木々の幹や枝葉は瑞々しい色を失い自然は静けさに包まれます。

陽気はふさがったように見えませんが頭上では冬の星座が煌めきます。おおいめ座オリオン座、おうし座、ぎょしゃ座、ふたご座、こいぬ座の一等星を結んでできる六角形の「冬のダイヤモンド」が輝き、ふたご座から流れ星も観られるころです。宗教改革で知られるルターは木々の間に煌めく満天の星を見て、その美しさを子供たちに伝えようとモミの木を持ち帰りました。モミの木の枝にたくさんのろうそくを飾って星降る木の美しさを再現させました。これがイルミネーションの始まりといわれます。

師走の暮らしは今年の締めくくりと新年への準備で忙しいものですが、冷たく澄んだ夜空の星を見上げて一年をふり返り、新年への願いを星に語りかけてみてはいかがでしょうか。

十三日は「正月事始め」。この日から煤払い、松迎え、餅つきなどお正月の年神様をお迎える準備を始めます。すっきりとした空間で新年を迎えたい気持ちになる年末には、各地で「虫の市」が立ち古道具や不用品の交換や販売が行われます。

平安時代、道具類は百年経つと付喪神（つくもがみ）という妖怪に変化するといわれ古道具を年の瀬に捨てる風習がありました。しかし神社仏閣の境内でそれらを別の人に譲ることで道具に新しい命が宿り付喪神がつかないとされました。大掃除がリサイクルのきっかけとなることは昔も今も変わらないうです。

（裏へ続きます）



『神秘の健康力』
定期購入 30粒 2,700円(税込)～
商品の注文・変更をご希望の場合は、下記にお電話ください。
☎0120-63-2222
※おかけ間違いにご注意ください。
【営業時間】
9:00～18:00 (12/31～1/2は休日)

二十一日は冬至。かぼちゃを食べてゆず湯につかります。冬至にかぼちゃを食べると風邪をひかないといわれます。かぼちゃにはカロテンが豊富に含まれており、冬の貴重な栄養源となります。ゆずにはビタミンCの他にもリモネンという成分が含まれていて、新陳代謝が活発になり身体が温まり風邪をひきにくくなるそうです。夜が最も長く昼が短くなる冬至は太陽の力がいらばん弱まり、この日を境に再び力が甦ってくることから「陽来復(いちようらいふく)」といわれます。それが転じて悪いことが続いたあとに幸運に向っていくことを意味するようになりました。今年元日から能登半島地震にみまわれました。夏は猛暑で大雨による火害も発生しました。巨大地震への警戒、地球温暖化による風水害の激化など、高齢者が増加する社会のなかで安全で持続可能な暮らしとは何かについて考えさせられる一年でした。

年末の風物詩の一つにベートーヴェンの「第九」があります。第四楽章でバリトン歌手がすくっと立ち上がり「歡喜の歌」を歌い出す場面はいつ聞いても感動するものです。和訳された歌詞からは、人生の希望や平和へのメッセージが伝わってきます。一九八九年の十二月、ベルリンの壁が崩壊した直後には欧米のオーケストラ楽員がベルリンに集結して「第九」を演奏しました。東日本大震災のあとも東京で犠牲者を追悼するために演奏されました。ベートーヴェンはこの曲の作曲中も難聴のためほとんど耳が聞こえていなかったそうですが、困難な状態にあっても友人や愛する人のいる人生の素晴らしさを伝えたい思いで完成させたのでしよう。年末に聴くと「新しい年はきっといいことがあるはず」と思えてきます。

冷え込みが厳しくなりますので風邪やインフルエンザにお気をつけください。
健康対策には『神秘の健康力』。商品のご注文やご変更などございましたらいつでも(0120-63-2222)までご連絡ください。

皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。

金氏高麗人參株式会社

おもてなし係お手紙担当 久郷 直子

